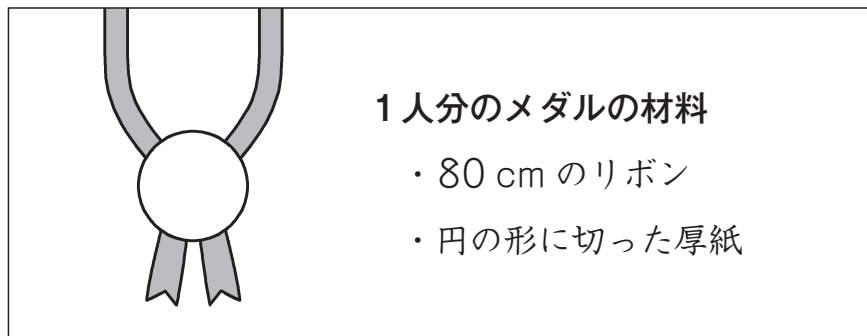


3

ともみさんの学校では、小学校に入学する前の子どもたちを招待して学習発表会を行います。子どもたちは、24人来る予定です。学習発表会では、来る予定の子どもたち全員に、メダルを作ってわたすことになっています。

1人分のメダルの材料は、次のとおりです。



先生は2000 cmのリボンと、縦が39 cm、横が54 cmの長方形の厚紙を用意しています。ともみさん、はるおさん、あかねさんの3人は、リボンと厚紙が足りるかどうかについて考えています。

- (1) 24 人分のメダルの材料として、今あるリボン 2000 cm で足りるかどうかを、3 人はそれぞれの式で考えています。



ともみ

$$80 \times 24 = 1920$$



はるお

$$2000 \div 80 = 25$$



あかね

$$2000 \div 24 = 83.3 \dots$$



ともみ



はるお



あかね

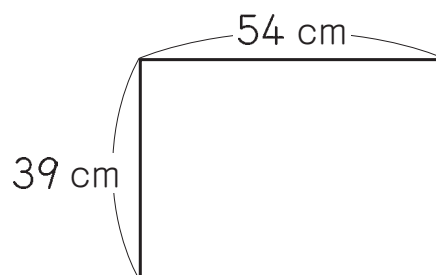
リボンは足りません。

上の 3 人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。

下の **1** から **3** までの中から **1つずつ** 選んで、それぞれ番号を書きましょう。

- 1** 今あるリボンから、1 人分のリボンを何本取ることができるか
- 2** 今あるリボンから、1 人あたり何 cm 取ることができるか
- 3** 全員分のリボンを取るのに必要な長さは何 cm か

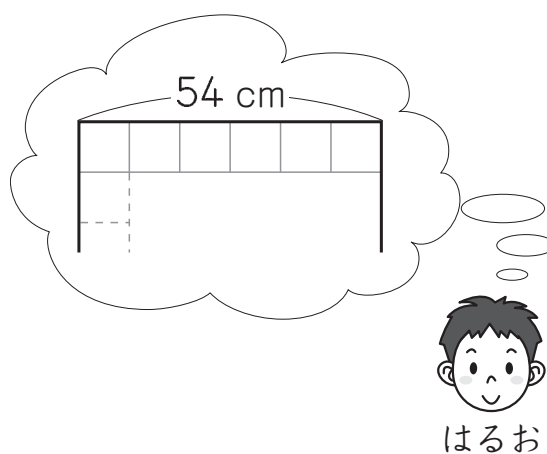
- (2) はるおさんは、縦が 39 cm、横が 54 cm の長方形の厚紙 1 枚から、1 辺が 9 cm の正方形を 24 個かいて切り取ることができることに気がしました。



はるおさんは、1 辺が 9 cm の正方形を 24 個かくことができるわけを、厚紙の縦と横の長さに着目して説明しようとしています。

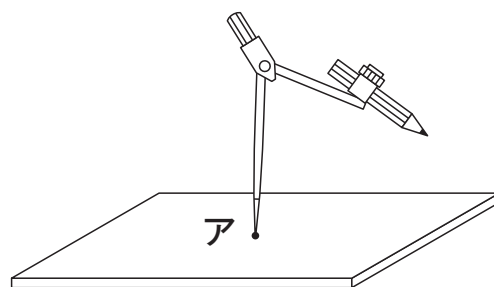
はるおさんの説明

厚紙の横の長さは 54 cm です。
正方形の 1 辺が 9 cm だから、
 $54 \div 9 = 6$
正方形は横に 6 個かくことができます。



はるおさんの説明に続くように、1 辺が 9 cm の正方形を 24 個かくことができるわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- (3) 1 辺が 9 cm の正方形になるように
 切り取った厚紙に、コンパスを使って、
 できるだけ大きな円をかくて切り取り
 ます。



次の厚紙を真上から見た図の、アの場所にコンパスの針^{はり}をさす場合、下の **1** から **4** のどこにえんぴつの先があうようにして、コンパスを開けばよいですか。

コンパスのえんぴつの先をあわせる場所（・）を、下の **1** から **4** までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

